



ニュース

Vol.7 2024.11

8/24（土）～9/15（日）に実施した 南富山駅前における社会実験について ご協力ありがとうございました！

社会実験の背景

南富山駅前には1日あたり約5,700台の自動車が通行していますが、約9割は南富山以外を目的とした通過交通となっており、通行空間が不明確となっているため、歩行者・自動車の安全な通行が保たれていない状況にあります。また、昨年度実施したシール投票や対話会においても、まちの中での居場所に対するニーズの高さが見られました。

平日・休日別の自動車交通量の状況

平日：約5,700台/18h（5:00～23:00）

通過交通 93%（約5,300台）

送迎車両 7%
（約400台）

休日：約4,500台/18h（5:00～23:00）

通過交通 96%（約4,300台）

送迎車両 4%
（約200台）



R5年度に実施したシール投票（4,194枚）の結果

〈良いところ〉

- 1 時間を気にせず利用できる便利な市内電車
- 2 公共交通の乗り換えができて便利な南富山駅
- 3 友達と自由に使える場所があれば使いたい
- 4 昔ながらのレトロな雰囲気の駅舎
- 5 学校が近くて子供や学生の顔が見える街

〈悪いところ〉

- 1 古くて電車待ちスペースが小さい駅舎
- 2 少し寂しく、痛みが気になるアーケード
- 3 ルールが分かりづらく危険な駅前広場
- 4 狭くて使いづらい道がある
- 5 遊ぶ場所が公園くらいしかない

社会実験のテーマ

①交通環境の整序

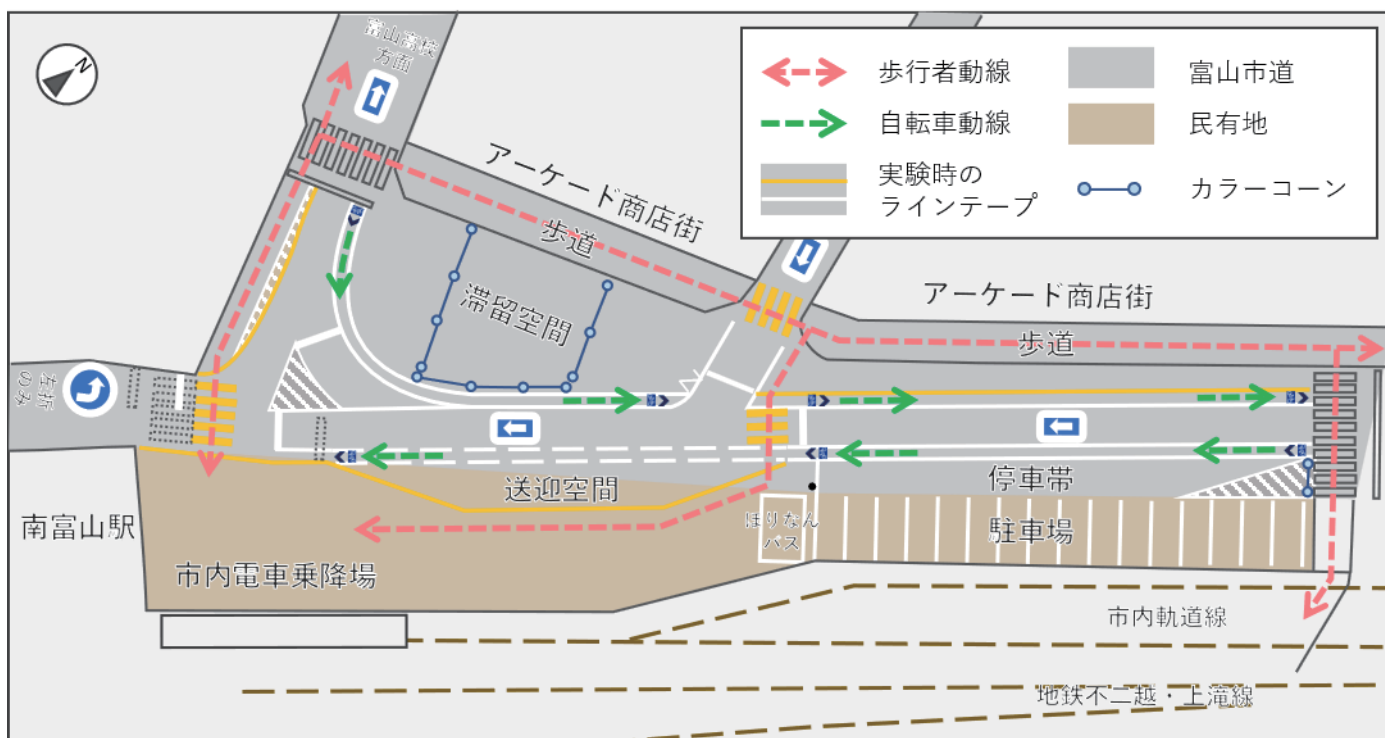
白線のない駅前空間に仮設のラインテープを設置し、歩行者・自転車・自動車の安全な通行を検証

②滞留空間の創出

自動車交通のための空間となっている駅前に、椅子やテーブルなどを設置し、滞留の様子を検証

社会実験図

※当初の計画から滞留空間区域を一部縮小



①交通環境の整序

交通事故もなく、白線等に沿った通行が実現

実験前



実験中



②滞留空間の創出

イベント以外の滞留行動も見られた



▲イベント時の利用状況



▲商店街店舗に来店後の飲食

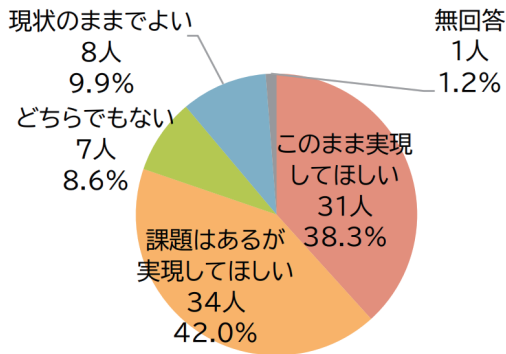


▲待ち合わせや学生の滞留

社会実験に関するアンケート調査

- このまま実現して欲しい、課題はあるが実現して欲しいが約8割
- 「歩車分離」や「送迎スペース」への満足度は高いものの、「駐車場台数」に関する不満足度が高く、自由意見でも駐車場所を求める声が多い。
- 通行規制やルールの変更を行わなかったため、交通量に変化はない。

【実現可能性への評価】



【安全性や利用のしやすさからの評価】

全体	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
①歩車分離(歩道と車道の明確化)	29.6%	32.1%	8.6%	17.3%	12.3%	
②自転車レーンの確保	24.7%	18.5%	29.6%	16.0%	11.1%	
③送迎スペースの確保	25.9%	29.6%	12.3%	22.2%	9.9%	
④人の滞留空間	18.5%	17.3%	30.9%	21.0%	11.1%	1.2%
⑤電車の待合列の明確化	17.3%	23.5%	35.8%	17.3%	6.2%	
⑥駐車場台数	9.9%	21.0%	16.0%	32.1%	18.5%	2.5%

【平日 12 時間交通量調査の結果（一部抜粋）】

市電通り →駅前	実験前	実験中	差	笹津方面 →駅前	実験前	実験中	差
交通量	2,367 台	2,575 台	208 台	交通量	1,438 台	1,568 台	130 台

【その他の自由意見】

- ・送迎車がたくさんいるのに、**駐車場を減らし過ぎている**。
- ・場所もないのに**滞留空間はいりません**。送迎に来る車が駐車等できる場所をそれなりに確保できなければ何も変わらないと思います。
- ・今までどおり、**アーケード側も線路側もすべて駐車スペースにするべき**。
- ・滞留空間は、炎天下にくつろぐ人はいないのでは。**近くのお店に来るとき車を停めるのに都合がわるい**。
- ・**逆走車が無くなったように感じる**ので、良い実験と思われます。
- ・**以前の状況より、かなりすっきりとした交通環境になった**と思います。
- ・車線で右折と直進がわかりやすくなり、**スピードを出す車が減ったのはよかった**です。
- ・歩道、自転車道、車道がラインで明示されており、特に、**真ん中の横断部で安心して渡ることができた**。

《交通環境の整序に関するまとめ》

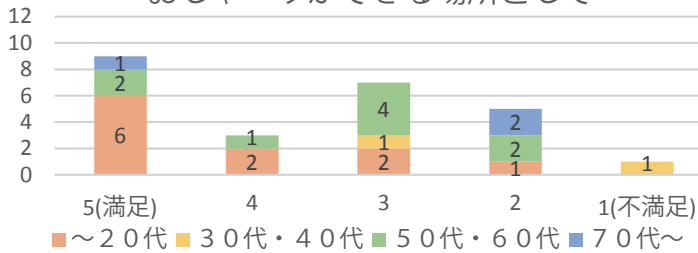
- 歩車が分離され、安全に歩行できるようになったことへの評価が高い。
- 中央部の横断歩道設置により、通過速度の減少など、安全性向上が図られた。
- 市道部分にある停車空間が滞留空間となったことで、送迎目的で利用する車両に支障が生じた。
- また、当該空間を駐車利用していた周辺店舗の顧客が駐車できなくなったことで、売上げが落ちたなどの声が上がった。

滞留空間に関するシール投票結果

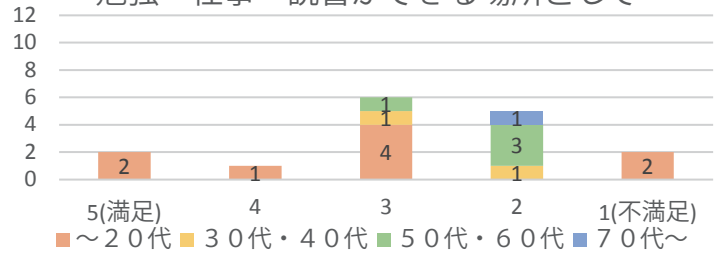
今回の広場を使ってみてどう？

今回の滞留空間について、用途別に5段階で評価してもらいました！

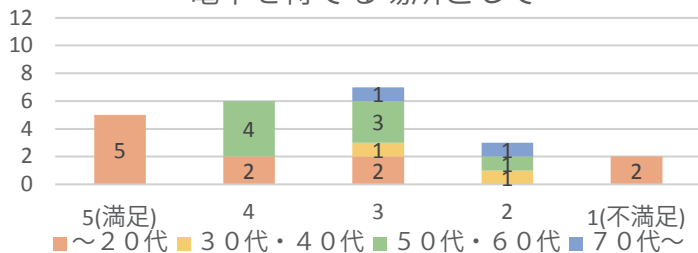
おしゃべりができる場所として



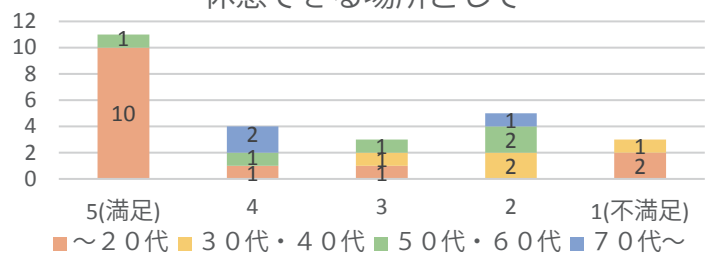
勉強・仕事・読書ができる場所として



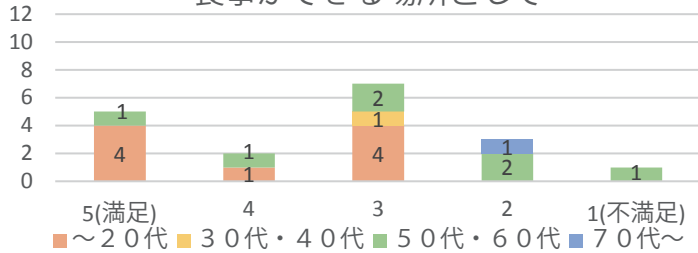
電車を待てる場所として



休憩できる場所として



食事ができる場所として

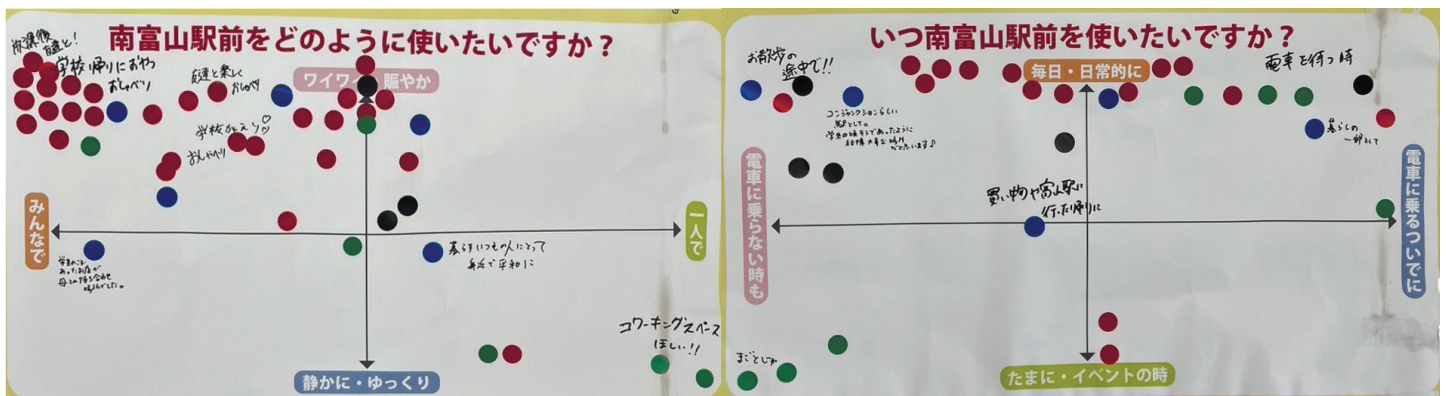


《投票の分析》

- ・20代以下は満足と評価している方が多いがそれ以外の世代は低い評価が多くなっています
- ・勉強や仕事場としての関心や需要は低いが、時期や設備次第では肯定的になる可能性もあります
- ・休憩や電車を待つ場所の需要は比較的高い
- ・全体的には今後の南富山駅前の変化に期待している意見が多いようです

これからの南富山駅前をどう使いたい？

「どのように」「いつどんな場面で」使っていきたいか、意見を集めました。



●若い世代を中心に、「みんなで賑やかに」「電車利用に関わらず日常的に」使いたい！という声が多く集まりました。

- ・一方で「一人で静かに」利用したいという声は少なく、南富山駅前は日常の通勤・通学やお出かけと併せて立ち寄りやすい場所なのかもしれません
- ・2週間ほど駅前にシール投票を掲示しましたが、投票はせずともシールや書き込みを見てお話される方も多く、南富山駅前について話してみる、考えてみるきっかけになっていたようです